

第9回 定例評議員会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成15年7月26日(土) 13:30~16:00
2. 場 所： 横浜市市従会館 4階大ホール (横浜市西区宮崎町25)
3. 評議員出席状況： 評議員現在数： 50名
出席評議員数： 27名
委任評議員数： 18名
欠席評議員数： 5名 (出欠表添付)
4. 出席理事： (副会長) 廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄
(専務理事) 山田 隆
(常務理事) 片 忠夫、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
(理事) 早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、
徳本 進、堀 祐樹、斎藤 幸雄、岡本 洋一、木村 徳善、
菊池 勇二、清水 忠、栗田 謙悟、平沢 幸一、本宮 敏宏
欠席理事： (会長) 河野 洋平、(理事) 長久保 巖
5. 出席監事 井駒 利一、徳田 盾夫
6. 出席顧問・参与 押川 泰夫、片岡 春夫、小林幹夫顧問
7. 議長選出 井上 敏郎 評議員(厚木スキー協会)を指名
8. 議事録署名人選出 藤田 まゆみ評議員(川崎スキー協会)、大沢 康之評議員(横浜スキー協会)を選出
9. 書記 百海 廷理事、徳本 進理事、小池 資治広報委員を指名
10. 配布資料
第9回評議員会資料(事前配布)
第9回定例評議員会進行スケジュール
第9回定例評議員会資料正誤表
規約・規程委員会報告書

11. 議 事

片 忠夫常務理事から、只今の出席状況は、実出席27名、委任状18名、合計45名で、寄付行為第31条2項の評議員現在数50名の2/3以上出席と言うことでこの会議が成立した旨報告した。

互選により井上敏郎 評議員(厚木スキー協会)を議長に選び、大沢 康之評議員(横浜スキー協会)、藤田 まゆみ評議員(川崎スキー協会)を議事録署名人に選出。書記に百海 廷理事、徳本 進理事、小池 資治広報委員を任命した。

河野洋平会長が体調不良で欠席のため、廣瀬副会長が代理挨拶をした。議長より、顧問・参与及び、顧問弁護士の柳澤尚武氏の紹介をした。続いて、議事日程説明の後、以下の議案について審議した。

1) 第1号議案

(1) 一般経過報告

議長の指名により、山田 隆専務理事から「神奈川県スキー連盟も、会員数が減少傾向にあり、各協会の皆様方にもご協力頂き、これ以上会員が減らないよう、できれば会員を増やしていけるように努力していきたいと思っております。また、決算につきましても今年度は基本的に赤字に落ち込むことなく終了しましたが、少しの気の弛みで赤字運営になりかねない状況にあるので、役員一同力を合せてプラスになるように運営してまいります。」との報告があった。

引き続き、S A Jの動向について、山田 隆専務理事から「検定が大幅に変わります。準指検定は、点の付け方が合否となり、検定員3人のうち2人が合を出せば合格となります。また正指検定は、3年間に分かれて単位制で受けることができます。バッジテスト等においても、受けやすい検定ではなく、受けやすい検定に変えていきたいとのことです。また、本年度は、スキー教程が改訂され、指

導編と理論編が一冊になって出てきます。

競技において、用具のレギュレーションが変わり、特にジュニアにおいては板を買い換えなければならないようなルールとなりました。菊池競技本部長と話し合い、SAKでは県内の大会においては、極力用具の買い換えは必要無いようにして、選手に負担をかけるようなことはしないようにしていきます。ただし、全国の大会に出場する場合は、その大会のルールに準ずるようお含み置き下さい。」と報告があった。

(2) 活性化委員会答申内容について

片 忠夫総務本部長から、活性化委員会答申内容(58ページ)について、「会員数が近年減少傾向にあり、歯止めを掛けるべく、県下の10名のメンバーを召集して議論をしていただきました。その答申として出てきました内容が資料に記載してございます。今年度の事業ですぐ出来るもの、少し時間が掛かるが来年度以降になるもの等SAK各本体内で審議して出来るだけ取り込み運営して頂きたいと考えております。又、実施不可能なこともあるかと思いますが1つの考え方でありますので、了承して頂きたい思います。」との報告があった。

(3) 規約・規程委員会と内容及びブロック運用規程について

引き続いて、片 忠夫総務本部長より、規約規程委員会と内容(75ページ)、ブロック運用規程(73ページ)について、「2年前のSAK役員選出時に問題が出まして、規程の見直しをしていただいたのと、ブロック規程はブロックの役員を選出するだけでなく広い意味でブロックを活用するという事で制定して、審議して頂いた。さらに運営規則の中にブロック制をきちんと明確にした。」と報告があった。

(4) 質疑応答

活性化委員会の答申内容の具体的展開について、評議員の委任について、県連資産の運用方法について等の質問があり、片 忠夫総務本部長から、活性化委員会からの答申内容を各本部が取り入れ、事業をどの様に運営していくかを、活性化を踏まえて整理していく事が述べられた。また、委任の件及び資産の運用ルールを決めていくことなどの回答があった。

2) 第2号議案

(1) 平成14年度(SAJ15年度)事業報告及び決算報告、監査報告について

山田 隆専務理事より平成14年度事業報告については資料を参照くださいと報告があった。続いて、片 忠夫総務本部長より総務本部報告(資料11ページから80ページ)、渡辺三郎教育本部長より教育本部報告(資料81ページから130ページ)、菊地富士夫競技本部長から競技本部報告(資料131ページから161ページ)があった。

平成14年度決算報告については、上田英之総務本部理事から、資料に基き報告(163ページから177ページ)があり、決算概況は単年度収支は予算に対し43万円のマイナスとなった。

-1 一般会計は、事業費の収入減となりましたが、国体・スポーツ振興などの補助金及び広告料・雑収入の増加等で全体では約8万の増加となりました。

大会事業の支出増は、事業費で約260万の増加がありましたが、管理費等の減少により全体では約51万の増加となった。

-2 特別会計は、競技力向上事業の予算に対し、4万円の削減を行った。記念行事積立金、事務所修繕積立金、別途積立金は予算通りの執行をしました。

続いて、収支決算書(総括表、資料165ページ)、正味財産増減計算書(資料170ページ)、貸借対照表(資料171ページ)、財産目録(資料172ページ)、特別会計(資料173ページ)、一般会計、特別会計(基本財産・特定預金)(資料174ページ)、計算書類に対する注記(資料175ページ)、固定財産現物確認書(資料176ページ)、物品期末残棚卸表(資料177ページ)等について報告提案があった。

井駒 利一監事からは、平成14年度の会計処理及び事業執行についての監査の結果(資料の178ページ、3点の監査所見)について報告があった。

(2) 運営規則一部改訂及び役員選出規程一部改訂について

第1号議案の(3)規約・規程委員会と内容及びブロック運用規程で報告済のため省略。

(3) 質疑応答

八尾 勉評議員(川崎)から、収支決算書の広告料実績について、H/C及びフリースタイル行事の実績について質疑があり、上田 英之理事より、広告料及びH/C行事についての説明が行なわれ、栗田 謙悟理事より、

フリースタイルの行事開催について報告があった。

鈴木 正儀評議員（川崎）から、ジュニアの育成、上越4連戦の決算、レベルアップ講習会について質疑があり、

菊地競技本部長より、ジュニアの育成及び上越4連戦の役員体制の説明が行なわれ、渡辺教育本部長からは、レベルアップ講習会の対応について報告があった。

水島 三千夫評議員（鎌倉）から、県連事務所取得時の指導員会からの仮受金の残額についての質疑があり、

上田 英之理事より、仮受金の返済完了と来年度からの取扱いについて説明があった。

中森 博文評議員（津久井）から、ブロック制での交付金について質疑があり、

片 忠夫常務理事より、ブロックに分けた主旨説明があった。

以上の提案について、休憩の後、全体を通しての質疑応答の後、議長より第2号議案(1)について及び第2号議案(2)について、それぞれ承認を得たい旨諮ったところ満場一致で承認された。

3) 第3議案

(1) その他

片 忠夫常務理事より、顧問・参与・事務局名簿（資料の1ページ）に訂正箇所があるため、次回より訂正する旨の報告があった。

以上を以って、本日の議事を終了し、議長解任後、副会長より閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成15年8月22日

財団法人 神奈川県スキー連盟
評議員会 議長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印